

対談がトップニュースに

私は「反日国家に工場を出すな」と言い続けてきた。

2012（平成24）年11月1日、日本経済新聞の鈴置高史編集委員との対談により、「日経ビジネスオンライン」で発信した「中国とは絶縁し東南アジアと生きる」が、その月の記事の中でトップニュースとなった。

また翌2日には、『慰安婦』で韓国との親交もお断り』の対談も2位にランク。5日にはこの2つの対談が1、2位を独占した。対談の内容はウェブ検索で「伊藤澄夫」と入力いただければお読みいただける。2004（平成16）年に出版した著書『モノづくりこそニッポンの砦 中小企業の体験的アジア戦略』で、「中小企業は反日国家

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 49

に進出してはいけぬ」とは既に述べていたことだ。この対談で私は次のように発言している。

2012年夏、日本人への暴行や日本企業の打ちこわしが中国で起きてよく、伊藤さんの言うとおりでし

中国とは絶縁し東南アジアと生きる

しかし、「日本人は強硬に出れば言うことを聞く」という悪い先例をつくってしまう。2005（平成17）年の反日暴動の後、中国の役人が不思議そうに「普通あれだけ殴られたら中国に進出しなくなるものだが、なぜ、日本人は投資を続けるのか」と日本の役人に問い掛けたそう。

日本人は「話し合いが一番大事」と考える者が多いが、中国には日本人の控えめな流儀は通用しない。中国人はモノづくりにおいて幅広く優位を持つ日本に魅力を今も感じている。頭を下げて業績を上げるような行動より、国家の尊厳やプライドを持つことが必要ではないだろうか。日本を落とした国にそうさせない意味で、日本が優位を保つモノづくりを担う者が立ち上がるべきだ。

1、2位を独占した対談（日経ビジネスオンライン）

日本企業が尖閣諸島に関し中国と話し合いをするよう求める経営者が出てきた。そうすれば彼らは一時的には顔を立てて、暴行の手を緩めるかもしれない。



日経ビジネス
ONLINE

2012年11月29日 09

昨日のアクセスランキング

1位 伊藤 澄夫 朝日新聞 2012年11月2日
「慰安婦」で韓国との親交もお断り
この記事のコメントを読む (12 件)

2位 伊藤 澄夫 朝日新聞 2012年11月1日
中国とは絶縁し東南アジアと生きる
この記事のコメントを読む (12 件)

3位 「来る」と「来る」異国間のコミュニケーションカ
「スマイル」がなくなったマクドナルド